

あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'91 12月号

『昔の家に入ってみたよ。』 (小学3年生の社会科見学)

博物館の1階に展示されている民家(平塚市広川の旧窪田氏宅の一部を復元)は、小学3年生が社会科の「昔調べ」などでよく見学を訪れるところです。照度がおさえられ、やや薄暗いため、「お化け屋敷」などと呼ぶ子もいます。

今年度の小学生の団体見学者数は1171人で、そのうち、3年生の見学者数が一番多く455人でした。11月28日に訪れた市内神田小学校の子ども達は、館の職員の説明のあと思い思いに見学をし、ワークシートに書き込みながら学習をしました。太い柱をだっこしたり、板の間に座ってみたりした感じはどうだったかな?



「自在かぎの周りに座る先生と子ども達」
(平塚市立神田小学校3年生11/28)

平成3年11月29日(金) 3年3組18番 氏名宮崎 暁子



二人でもつのが
やっとこさ。

頭がスポッとはいる。

窪田家を博物館にもってき
ておいてある。でも、家が大きすぎて
半分しかない。
なかにはいってみた。おどろいた。
かべが土で、できている。
柱はがんばりょうな木でできて
いた。
うすときねがおいてあった。きねを
もって見たら、おもろい!
きねをもつて仕事をするのは
力もちの人しかできないなあ。
いろいろは、本当に上からぶらさ
がっている。け、こう、かるい。
ほかには、とうみ、せいろや色々
あった。はじめてみたのがたく
さんあった。

すばらしい...
博物館新聞

(これは、フックスで送られてきた3年3組宮崎暁子さんの「博物館新聞」の一部です。)

「あなたと博物館」11月号より、新しくなる展示の内容についてご紹介しています。今回は、その2回目で、「川原は生きている」と「アユの川」の2つのコーナーについてお話します。

2. 「川原は生きている」

相模川をさかのぼって、厚木あたりまで行くと、石ころがごろごろした川原が多くなります。草も少ないこうした砂礫地(されきち)はちょっと見ただけでは何もすんでいない、不毛の土地のように見えます。ところが川原には川原にしかない生き物の世界が広がっているのです。

初夏の頃、川原に行くと、白くてスマートな鳥が飛び交っていることがあります。岸で見ていると、この鳥は空中でねらいを定めて一直線に水中にダイビングし、魚をくわえた舞いあがってきます。魚とりの巧みなこの鳥はコアジサシという名で、相模川を代表する野鳥の一つです。

そしてこのコアジサシが巣を作る場所が砂礫の川原なのです。「川原は生きている」の展示では、カービング(木彫りの鳥)でコアジサシを作り、空を飛んでいるようす、卵を抱いているようす、雛に餌をやっているようすなどを紹介する予定です。

コアジサシは集団で巣を作りますが、その近

くではコチドリやイカルチドリも巣を作っています。コアジサシは敵が近づくと、大勢が一斉に飛び立ってそれを追い払う性質があります。そのため、コアジサシの巣の近くは安全だということでチドリも集まってくるのだそうです。

コアジサシが巣を作る季節に、川原に花を咲かせる植物もあります。その代表はカワラニガナとテリハノイバラです。秋になると、カワラハハコ、カワラヨモギも花をつけます。名前にカワラがつくこうした植物はどれも、砂礫の川原だけに見られる種類です。川原は乾ききったやせ地で、植物が育つにはきびしい環境ですがそうした条件に耐えられるのが、こうした植物なのです。川が汚れ、川原が肥えてくると、いろいろな植物が入り込み、川原特有の植物は競争に負けて絶えていってしまいます。ですから川原の植物はきびしい環境に耐える強い力を持っていると同時に、他の植物には負けてしまう弱い性質も持っているのです。こうした植物も模型や写真で紹介します。



※展示替えのための工事が、来年1月から3月まで行われます。新しい展示の公開は、4月からとなります。

3. 「アユの川」

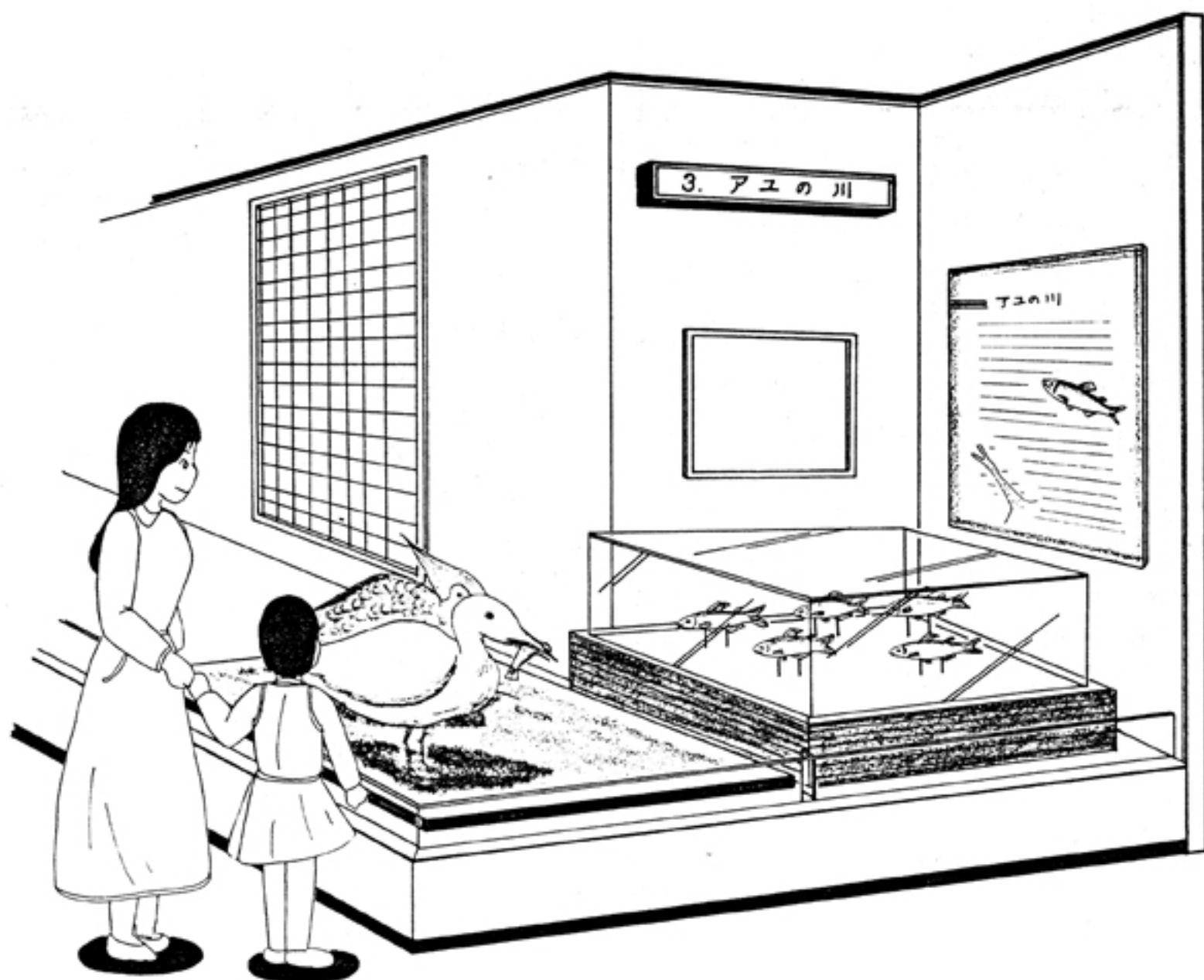
相模川を代表する魚は何でしょうか。この質問に大部分の人はアユと答えるでしょう。相模川には昔からアユが多く、いろいろな方法でアユ漁がさかんに行われていました。また、アユは味がよく、釣り人にも喜ばれています。川がひどく汚れると生活できない種類でもあるので、アユがすんでいるということは、川の健康の指標にもなります。こうしたいろいろな意味で、アユを相模川の代表にふさわしい魚といえるでしょう。

自然のよく残った川であれば、アユは水鳥の餌にもなっています。コアジサシもアユを食べますし、コサギやササゴイなどのサギ類は岸や流れの中でじっと待ち伏せ、近づいたアユを尖ったくちばしで巧みにとらえます。そのようす

も剥製を使って紹介します。

また、アユがいる川ではいろいろな漁も行われます。投網、コロガシ釣り、友釣りなど漁の道具もたくさん展示し、伝統的なアユと人のつながりに目を向けてみます。

一方で、相模川のアユにはさまざまな危機も訪れています。アユは川で産卵し、生まれた稚魚がいったん海に下る性質をもっています。川に堰やダムが建設されると、産卵場所がなくなったり、初夏に川をさかのぼることが難しくなったりしてしまいます。この展示では、アユの産卵風景とパネルで、川にどんな条件があればアユが生き続けられるのか考えるための情報提供もしたいと考えています。



《行事案内》

12月の行事予定		
7	土	ナチュラリスト講座
8	日	漂着物を拾う会 (平塚海岸午前8時～9時) 相模川の生い立ちを探る会 (津久井)
14	土	古文書講読会 土曜観察会
15	日	漂着物を拾う会 (江ノ島方面) 石仏を調べる会
21	土	体験学習「おかざり作り」 平塚の空襲と戦災を記録する会 土曜観察会(まとめ)
22	日	相模川を歩く会(半原)
1月の行事予定		
5	日	漂着物を拾う会 (平塚海岸午前8時～9時)
11	土	土曜観察会 相模川の生い立ちを探る会 (厚木)
26	日	相模川を歩く会(厚木)
12/1～12/27寄贈品コーナー(庶民信仰資料展) 11/9～12/26プラネタリウム「月面遊覧」 ～12/21 学校団体投影		

※休館のお知らせ

- ・年末と年始の休館 12/28～1/4
- ・1階の常設展示が新しくなります。そのため、以下の期間が工事期間となり、博物館は、休館となります。
1/5～3/31

天文情報

1月5日の朝、日食が見られます。

今回の日食はフィリピンの東海上に始まり、アメリカ西海岸に及ぶ太平洋中部を横切る金環日食で、日本では日食帯の一部がかかり、平塚でも部分食がみられます。午前6時52分、日の出のときにすでに欠けて出てくる日出帯食になります。日食が終る時刻も早いので、東から南の地平線が見通せる場所でながめて下さい。

平塚での予報

時刻	高度	食分
6時52分	0°	0.356
7時0分	0.6	0.326
10分	2.4	0.266
20分	4.1	0.192
30分	5.8	0.108
40分	7.5	0.018
42分	7.9	0.0

■プラネタリウム投影「月面遊覧」12/26まで
月の表面は、無数のクレーターとなだらかな「海」と呼ばれている地形におおわれています。その様子を生々しいビデオ映像でご紹介します。
投影開始時刻：土曜日14:00

日曜日11:00と14:00

観覧券：100円

☆ ※学校が冬休みに入りますので、以下のように臨時投影を行います。

★ 12/25(水) 11:00と14:00

12/26(木) 11:00と14:00

■体験学習「おかざり作り」

正月の一文かざり・ゴボウジメ・玄関かざりを作ります。

日時：12/21(土) 10:00～15:00

申し込み：往復はがきで担当まで。

(〆切は、12/10、定員30人)

「あなたと博物館」16巻9号 通巻183号 ©3000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 Ⅷ(0463) 33-5111 FAX(0463) 31-3949